

## 第3回研修会

### 「中・上級受講者と行う日本語支援活動」

記録者 高石優子

- ・平成23年10月22日（土）PM1：30～4：30 遊亀公民館研修室
- ・講師：友松悦子先生（拓殖大学留学生別科 講師）
- ・参加者：28名

- 拓殖大別科では日本語を勉強し大学へ入る予備教育をしている
- 学生は、中国、台湾、韓国、バングラディッシュ、インドネシア等から来ている
- アカデミックな学習よりも生活するための日本語を勉強する学習者が60%くらい
- 時代によって日本語教育の形が変わってきている

#### I 中級の学習とは

「中級の学習者」とは、生活者に必要な日本語の内容のどのあたりからか？

隣の人同士で話し合う ―⑤子育て、教育を行う（学校からの手紙を読む…等）あたりから、⑥働く⑦人と関わる また学習者の生活により違う場合もある言葉や単語を並べるとなんとなく通じるところより、一歩前進するところから「中級」といえるのではないか

#### 中級の学習内容

～ここからは問題の答えを考え、隣の人やまわりの人とグループになり話し合い先生になったり生徒になったりしながら進む～

- ◆単語を並べて何とか通じる会話文に助詞や接続詞などを入れて、言いたいことがはっきり伝わる文に直す
- ◆主部の例題から述部を正しく言えるようにする
- ◆話題の取り立てを表す機能を果たす助詞「～は」は、他にどんな言い方が考えられるか？ ⇒1「～って」（感慨を込めて）2「～に限って」（するはずない）3「～といたら」（非難 不満の気持）4「～はというと」（対比の気持）5「～といたら」（程度が普通ではない）6「～というのは」（話題に取り上げる）
- ◆心理を含めたいときの表現  
〈例〉うれしい⇒うれしくてしかたない  
参加しなければならぬ⇒参加せざるを得ない 等

#### II 中級を教えるときのポイント

たとえば、「もし…」の気持で言いたいときどんな言い方ができるか？

「～としたら」「～ないことには」「～ものなら」「～ないかぎり」「～なくしては」等をあげてまず紹介する

条件を表す他の言い方を使うと意思の疎通が深まるが、その分使い方に〈制限〉ができる

- ◆どんな制限があるか  
正しくない文を直す  
〈例〉1 「定年になるとしたら、その後、どんなことがしたいですか。」  
⇒定年になった  
2 「会長の木村さんが来ないことには、代わりにわたしが進行係をやります。」  
⇒やるしかない やらざるを得ない 等

◆レベルが上がるにしたがって、制限が出てくる  
前半の文から後半を考える

- |              |                |             |
|--------------|----------------|-------------|
| 1 母は忙しいから、～  | 2 この頃忙しくて、～    | 3 忙しかったため、～ |
| 4 忙しかったせいで、～ | 5 忙しかったものだから、～ |             |

◆文法的性質 (例)

- 1 マイナスイメージかプラスイメージか  
「－友好関係はさらに溝が深まりかねない。」 等
- 2 自分のことか他者のことか  
「わたしは車から降りたかと思うと、海に向かって走り出した。」  
⇒ 彼は 等
- 3 後の文に話者の意思や働きかけの文が来るか、ふつうの事実文が来るか  
「現地に着き次第、連絡した。」 ⇒ 連絡します 等  
「雨が降り出したものだから、タクシーで行きませんか。」⇒ので 等
- 4 継続を表す言葉が来るか、瞬間性を表す言葉が来るか。  
「ソファに座りつつ、色々なことを思い出した。」⇒座ったとたん 等

### III 運用面での支援

◆社会参加をする際の運用 「社会の中で使える」を目指す

☆学習者が次のような言い方をしたとき、注意するか。

〈例〉「課長、今日のご苦勞様でした。課長の話し方はなかなかいいですよ。」

◆公的場面ではどんな表現をしたらいいか

〈例〉「今日はお忙しいのに、よくお出でくださいました。」

⇒「本日はお忙しいところようこそお出でくださいました。」

◆中級の学習では、社会生活をする上での快いコミュニケーション術  
(時にはあいまい表現や方言も)を学ぶ

〈例〉あのう、～のことなんですけど…  
そろそろ時間のようですけど…  
これつまらないものなんですけど…

◆モードチェンジ

同じ内容のことを言う時でも相手に合わせて、言い方や表現が変わる

- ① 子供 (8歳) ② 夫 ③ 上司 に言う場合どんなトーンになるのか、  
代表して3人の参加者の方に実演していただきました

相手に合わせてモードチェンジをすることができれば

- 自分が思っていることがよく伝わる
- 相手との人間関係がうまく保たれる
- 相手との距離を広げたり縮めたりできる
- 場づくりに貢献できる

※ 尚、友松先生から会に日本語のテキストを何冊かプレゼントしていただきました。